

アグリッジプロジェクト

Agridge Project



これからのために、今できること。

Doing the right thing for the Future

アグリッジプロジェクトは農業による地域活性化をテーマに活動をしている。今年度は農作業や野菜直売など例年通りの活動が制限される中で、認知度向上の取り組みや、新規連携先の開拓、また、メンバーのスキルアップなど、来年度以降の布石となる取り組みに力を入れた。

認知度向上の取り組みとして、オンラインでの活動紹介に励んだ。中でも横浜の企業・大学・行政が連携して行うライブ形式のオンライントークイベント「おたがいハマトーク」に参加した際には、プロジェクト紹介だけでなく、地域活性化に意欲的な企業・行政の方々と意見を交わし、それぞれの連携を高めることが、地域が持続可能な成長を果たすために重要であることを再確認した。

また、新たに小田原の農家の方々との連携を構築して何かできないかという思いから、新規プロジェクトとして、小田原の地域性を活かしながら、フードロス削減と学生の野菜不足解消を目的としたスムージーの商品開発に取り組んだ。そして商品開発を進める中でその方向性を再検討するために、担当教員の小林先生の指導の下、プロジェクト運営に効果的なPCM

(Project Cycle Management) の手法を学ぶオンライン研修会を行った。この研修を通して、メンバーそれぞれが、プロジェクト遂行のためにどのような企業と連携し、またそのためにはどのようなコンセプトが必要であるかを考える力を身につけることができた。

今後現地活動が再開した際には、今回蓄えたスキルや新たなつながりを最大限活用して活動の幅を広げ、地域へ還元していきたい。

■学生： 15名(松本雅裕、桶谷友樹、酒井郁人、鈴木亮太郎、高橋拓暖、菊池祐太郎、坂口大門、渡邊実郁、大澤理夏子、加藤宗一郎、清水翼、鈴木七海、田村そら、山田拓夢、都筑梓) / 担当教員：池島祥史、小林誉明

■連携・協力(敬称略)：藤巻芳明、藤又琢、保土ヶ谷区役所生活衛生課、ヘルスメイト、常盤台コミュニティハウス、常盤台地区連合町内会、大倉山ミエル、ハマノワ、フェリス学院大学、横浜ビール、濱漬・上岡食品、川久保和美、矢郷農園、佐野ファームほか

■活動地域：学外農地、常盤台コミュニティハウス、横浜ビール、ニューマン横浜

■サイト：<https://agridge-chiikikasseika.localinfo.jp/>